

## 安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称： 虫サイン PK-150 デサビア (拡散器専用カートリッジ)  
会社名： 株式会社 ピオニーコーポレーション  
住所： 〒596-0078 大阪府岸和田市南上町1丁目19-21  
担当部署： 特器事業部  
電話番号： 072-431-7241  
緊急連絡先： 072-432-2016  
FAX番号： 072-431-7241  
作成、改訂： 2023/4/1  
整理番号： PKD009

### 2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性： 爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
エアゾール	区分に該当しない (分類対象外)
酸化物ガス	区分に該当しない (分類対象外)
高压ガス	区分に該当しない (分類対象外)
引火性液体	区分に該当しない (分類対象外)
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない (分類対象外)
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	区分に該当しない (分類対象外)
酸化性固体	分類できない
有機過氧化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない
健康有害性： 急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない (分類対象外)
急性毒性 (吸入：蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激	区分2B
呼吸器感作	分類できない
皮膚感作	分類できない
生殖細胞変異性	分類できない
発がん性	区分1A
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分2 (中枢神経系)
	区分1 (肝臓)
誤えん有害性	分類できない
環境有害性： 水生環境有害性 (急性)	分類できない
水生環境有害性 (慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

絵表示またはシンボル：



注意喚起語： 危険

- 危険有害性情報： H320 眼刺激  
 H350 発がんのおそれ  
 H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 H372 長期にわたる又は反復ばく露による肝臓の障害のおそれ  
 H373 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き：

- 【安全対策】 P201 使用前に取扱説明書を入手すること  
 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 P264 取扱い後は手／製品に触れた箇所をよく洗うこと。  
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 【応急措置】 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。  
 P314 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。  
 P337+P313 眼刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 【保管】 P405 施錠して保管すること。
- 【廃棄】 P501 内容物／容器を地方/国の規則に従って適切に廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量：	CAS No.	配合比，%	化審法番号
ゲル用11種植物抽出エキス	非公開	98～99	対象外
ゲル化剤（アクリル酸系吸水樹脂）	非公開	1～2	該当なし

### 4. 応急処置

- 吸入した場合：水でうがいする  
 皮膚に付着した場合：水で洗浄する  
 眼に入った場合：直ちに洗浄な水で洗顔し、異常があれば医師の診断を受ける。  
 飲み込んだ場合：口をすすぎ、無理に吐かない。気分が悪い時は、医師に連絡する。

#### 5. 火災時の措置

消火方法： 溶液自体では燃えないが、液が可燃物に染み込み乾燥、発火する。  
消火作業は風上から行い、容器などから有毒ガスが発生する可能性があるため有毒ガスの吸入を避ける。安全と判断され、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動し、消火剤で消火する。  
消火剤： 多量の水・炭酸ガス・粉末・耐アルコール性泡

#### 6. 漏出時の措置

漏出物に大量の散水を行い、モップ・布等で拭き取る。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 特に法的規制はないが、長時間連続して大量に取扱う場合は、作業環境の浄化に配慮する。  
保管： 高温多湿を避け、冷暗所に保管。  
また、容器の栓等はしっかりと閉める。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

組成物質の有害性及び暴露濃度基準：

成分名	管理濃度	許容濃度/TLV	
		日本産業衛生学会	ACGIH
ゲル用11種植物抽出エキス	—	—	—
ゲル化剤（アクリル酸系吸水樹脂）	未設定	(TWA) 2mg/m <sup>3</sup> (吸入性粉塵) (TWA) 8mg/m <sup>3</sup> (総粉塵)	(TWA) 2mg/m <sup>3</sup> (吸入性粉塵) (TWA) 8mg/m <sup>3</sup> (総粉塵)

設備対策： データなし

保護具： 呼吸用保護具：防塵マスク、送気マスク、空気呼吸器など。  
手の保護：ゴム手袋などの不浸透性保護手袋。  
眼の保護具：安全ゴーグル、眼鏡など。  
皮膚および身体の保護具：ゴム前掛け等の不浸透性保護衣。

#### 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態： 固体  
色： 淡黄色～黄色  
臭い： 若干のアルコール臭  
融点/凝固点： データなし  
沸点、初留点および沸騰範囲： データなし  
燃焼性： データなし  
燃焼または爆発範囲の上限下限： データなし  
引火点： データなし

自然発火温度： データなし  
分解温度： データなし  
pH： 6.91 (25.5℃)  
動粘性率： データなし  
溶解度： データなし  
n-オクタノール/水分配係数： データなし  
蒸気圧： データなし  
密度 (比重)： データなし  
蒸気密度： データなし

---

#### 10. 安全性及び反応性

---

安全性： 通常の手扱い/保管 (常温) では安定  
可燃性： 知見なし  
酸化性： 知見なし  
自己反応性： 無し  
爆発性： 無し

---

#### 11. 有害性情報

---

急性毒性 (経口)： 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。  
急性毒性 (経皮)： 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。  
急性毒性 (吸入：気体)： GHS定義による気体ではない。  
急性毒性 (吸入：蒸気)： 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。  
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)： データ不足のため分類できない。  
皮膚腐食性/刺激性： 毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 加方式が適用できる成分からの判定：  
区分2Bの成分合計が98%であり、濃度限界(10%)以上のため、区分2Bに該当  
危険有害性情報:H320 眼刺激  
呼吸器感作性： データ不足のため分類できない。  
皮膚感作性： 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。  
生殖細胞変異原性： データ不足のため分類できない。  
発がん性： きひ剤含有が98% $\geq$ 0.1%のため、区分1Aに該当。  
危険有害性情報:H350 発がんのおそれ  
生殖毒性： きひ剤含有が98% $\geq$ 0.1%のため、区分1Aに該当。  
危険有害性情報:H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
特定標的臓器毒性  
(単回ばく露)： 毒性が未知の成分を2%含有。  
毒性未知成分が1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。  
特定標的臓器毒性  
(反復ばく露)： きひ剤が98% $\geq$ 10%のため、区分2(中枢神経系)に該当。  
きひ剤が98% $\geq$ 10%のため、区分1(肝臓)に該当。  
危険有害性情報:H372 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系、肝臓の障害  
誤えん有害性： 動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

---

#### 12. 環境影響情報

---

水生環境有害性 (急性)： 混合物の分類判定方法 (加算法) により、  
方式1=分類できない、方式2=分類できない、方式3=区分に該当しないより  
区分に該当しないに該当。  
毒性が未知の成分を100%含有。  
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。  
水生環境有害性 (慢性)： 混合物の分類判定方法 (加算法) により、  
方式1=分類できない、方式2=分類できない、方式3=区分に該当しないより区分  
に該当しないに該当。  
毒性が未知の成分を100%含有。  
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。  
オゾン層への有害性： データ不足のため分類できない。

---

#### 13. 廃棄上の注意

---

残余廃棄物： 一般の産業廃棄物として処理する。(都道府県知事の認可を受けた業者に委託する)  
汚染容器及び包装： 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って  
適切な処分を行う。

---

#### 14. 輸送上の注意

---

共通： 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

【国際規制】 非該当

航空輸送はICAO/IATA及び海上輸送はIMOの規定に従う。

【国内規制】

陸上輸送； 消防法の規定に従う。

海上輸送； 船舶安全法の規定に従う。

航空輸送； 航空法の規定に従う。

緊急時対応措置指針番号；

輸送上の特別の安全対策； 火気厳禁とする。

---

#### 15. 主な適用法令

---

使用している原料／原料の一部に以下の物質を含む：

労働安全衛生法：（エタノール）

名称等を通知すべき危険物及び有害物（0.1重量%以上を含有するその他の物）

毒物及び劇物取締法： 非該当

消防法： 非該当

海洋汚染防止法： 非該当

船舶安全法： 非該当

化学物質管理促進法

（PRTR法）： 非該当

危険物船舶運送及び

貯蔵規則： 非該当

---

#### 16. その他

---

主な引用文献

原料SDS

化学物質総合情報提供システム（CHRIP）

事業者向けGHS分類ガイダンス 経済産業省

GHS分類結果データベース nite（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）HP

化学物質総合情報提供システム nite（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）HP

GHS対応モデルラベル・モデル 職場の安全サイト

【注意】

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、すべての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加、修正を行い改訂いたします。また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。すべての化学製品には未知の危険性・有害性がありうる為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。